



Zweigen
KANAZAWA

ツエーゲン金沢が “石川地デジ応援隊”に！



北陸総合通信局、デジサポ石川、石川地上デジタル放送推進協議会では、6月16日(水)午前11時から、石川県政記念しいのき迎賓館において、日本フットボールリーグ(JFL)に参戦している『ツエーゲン金沢』に対する、“石川地デジ応援隊”の委嘱式を行いました。ツエーゲン金沢からは、諸江 健太選手、山根 巖選手の両名がチームを代表して委嘱式に参加いただきました。



式の冒頭、吉武 洋一郎北陸総合通信局長が「ワールドカップ真っ盛りではあるが、以前からサッカー観戦が大好きで、金沢に着任以来、ツエーゲン金沢のホームゲームへ何度も応援に足を運んでいる。そんな折りにツエーゲン金沢事務局の方と懇意になり、今回の話が持ち上がった。」と委嘱の経緯を含めてあいさつしました。

その後、“地デジPRの先輩”である、地元テレビ放送局の石川地デジ推進大使から両選手に対し、『石川地デジ応援隊』のタスキを渡して、吉武局長と固い握手を交わしました。



ツエーゲン金沢からはチーム応援グッズがプレゼントされ、吉武局長はチームカラーの赤い応援Tシャツを、地デジ推進大使らはリストバンドを身につけました。



地デジ推進大使からのインタビューでは、吉武局長から「残り1年と少しに迫った地デジへの完全移行に向けて、今後の周知啓発活動では、ツエーゲン金沢の力を借りたい」、また両選手からは「自宅では50インチを超える大画面でワールドカップを観戦しているが地デジでは素早い足の動きも鮮明に映る。」(山根選手談)

「星陵高OBである本田圭佑選手や、キーパーの川島永嗣選手とはグランパス時代にチームメイトであり、地デジ画面だと応援にも力が入る。」(諸江選手談)とのコメントがありました。

最後に、全員で円陣を組み、試合でゲームキャプテンを務める諸江選手のかけ声で、“地デジへの移行推進がんばるぞ！”と気合いを入れました。



今後は、ツエーゲン金沢のホームゲームや、県内における地デジ普及イベントなどにおいて、関係団体と連携を図りながら“石川地デジ応援隊”の協力を受け、来年7月の地デジ完全移行に向けた取組みを進めて行くことにしています。